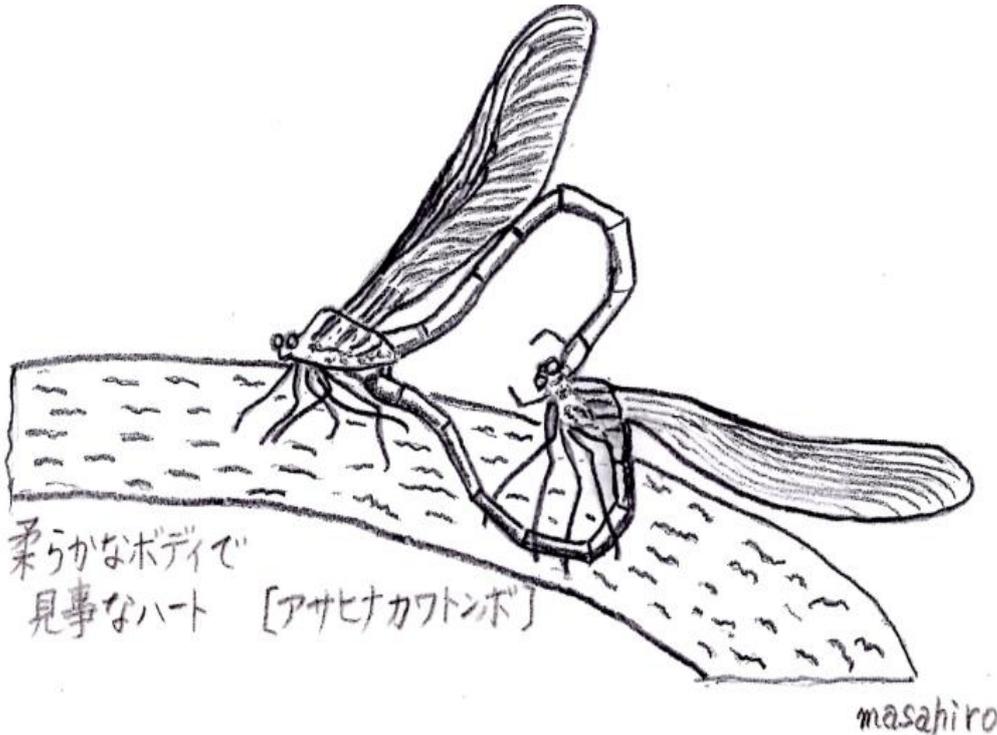




ゴロスケ報々



柔らかなボディで
見事なハート [アサヒナカフトンボ]

イラスト：森の絵本づくりの会 和田

友の会行事のお知らせ

●今年も駐車場の草刈りを行います（園内作業用駐車場）●

日時：6月29日（土）10：30～12：00（雨天中止）
集合：園内作業用駐車場
対象：上記駐車場を利用しているPJメンバー並びに会員有志
服装：長袖、長ズボン、帽子
持ち物：飲み物（鎌などの道具類は雑木林ファンクラブで準備します。）

担当：雑木林ファンクラブ

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

●友の会が「さかえ環境行動推進功労者表彰」を受賞！●

さかえ環境行動推進本部（本部長：星崎雅代・栄区長）から栄区の環境行動に尽力したとして、友の会が表彰されました。

5月22日（水）、同推進本部の総会（於：（株）タツノ横浜工場3階会議室）において表彰式が開催され、会長である山口が出席しました。友の会は区役所推薦ですが、他にも地域推薦の個人や事業所推薦の団体などが同時に受賞しました。

顧問の市議・県議が列席する中、「3R夢（スリム）行動」や脱温暖化、きれいな街づくり、水・緑の環境保全行動の功績に対して感謝の意を表する旨のご挨拶が、本部長の星崎栄区長他からありました。

後に総会が控えていることもあってか、受賞者挨拶や交流・情報交換の機会がなかったのは少々残念でしたが、今後、活動のPRや地域との連携が進むきっかけとなるといいなと思います。

友の会創立30周年の機に、横浜環境活動賞も受賞（表彰式6月予定）し、表彰が続きます。自分が大学生となって初めて横浜自然観察の森を訪れたのが友の会設立の翌年1989年＝平成元年のちょうどこの時期（5月頃）、サークル（自然保護研究会）の新入生歓迎ツアーで様々なフィールドを見て回る機会でした。平成の30年間とほぼ同じ期間、会員一人一人、一日一日の積み重ねを実感する貴重な機会、令和となった節目の年の一コマでした。

（山口博一）

事務局からのお知らせ

●5月定例会報告●

日時 2019年5月19日（日） 9:00～10:10

出席者 青木、秋元、今村、上原、大浦、落合（議長）、小島、関根（書記）、高橋、中里
西山、半田、星隈、村松、渡部、掛下R、尾崎R

議題

1. 行事報告

3月下旬から5月上旬の行事報告、活動報告を行いました。

4月の「森を守るボランティア体験」（自然と遊ぼう担当）の参加者2名。

2. 行事予定

5月中旬から8月上旬までの行事予定の確認を行いました。

3. 各プロジェクトの活動報告と活動予定の確認を行いました。

4. ごろすけ館の利用希望の調整を行いました。

5. 事務局より

・PJのスタッフ名簿を作るので、各PJで昨年度の名簿の訂正をお願いします。（事務局長まで）

・行事保険について、行事を中止した場合、参加者が0の場合に青木さんまで連絡してください。

6. センターより

「観察センターだより」のページをご覧ください。

<次回の定例会>

日時 7月15日（月・祝）10:00～

場所 自然観察センター研修室

定例会には、会員はどなたでも出席できます。

※年度初めの計画と日時が変更になっています。

●5月理事会報告●

日時 2019年5月19日 10:30~11:43

出席者 青木、秋元、今村、大浦、落合、小島、関根、中里、西山、村松、山口、吉田
掛下R、尾崎R (欠席:漆原、中塚)

1 役員・担当理事互選 (総会時に報告済)

会長	山口
副会長	大浦、落合
会計	青木
事務局長	中里
編集・広報	今村
編集サポート	中里、秋元
会員交流行事	吉田
会員名簿管理	漆原
ネットワーク	秋元
書記統括・ホームページ	関根
安全管理	中塚

2 年間スケジュール

11/17 中間報告・長期目標・中期計画・次年度方針、1/19 次年度事業計画、
3/15 総会準備ほか

3 長期目標・中期計画

これまでの基本路線を継続する方向を確認しました。新たな要素やよいフレーズなどアイデアをお寄せください。

4 利用推進会議 (7/15)

・予定議題 (報告、トレイルラン、森の家について) を確認しました。

5 安全管理

・安全管理講習 (6/23) 参加呼びかけ、事故等報告なし。

6 その他

・会議冒頭でトレイルラン 2018 年度実施に関する横浜市環境創造局政策課からの報告があり、危険であるため改めて大会開催の再考と、通常時も含めた安全管理 (具体的対策も提案列挙) の徹底などを要望しました。
・表彰式 (2 件) について確認しました。

<次回理事会>

日時 11月17日 (日) 11:00~12:30 (定例会終了次第、早めに開始)

場所 自然観察センター研修室

議題 中間報告、長期目標・中期計画、次年度方針ほか

ツノトンボ（角蜻蛉）

今年はトンボ池が満水だったようですが、これからどんどん暑くなっていくのでたいへん気になります。

あのあたりは、開けた草地でもあり、周辺は木々に囲まれていて、下のゲンジボタルの谷からの風が吹き上がってきたり水没もするし乾いたりもする場所、なのでいろいろな種類のトンボをみることが出来ます。そんなアキアカネの丘の下のように、ちょっと開けた草地なんかで見かけるのがツノトンボ。

見た目、トンボみたいな透明な羽、でもちょっと身体に比べて羽が長い、しかもバタバタとチョウみたいな飛び方をしてすぐに止まる。

飛び方だけ見ると、羽化しそびれたウスバキトンボにも見える。でも近くに寄ってみると体長と同じくらいのやたらと長い触覚が特徴的で、触覚の先端も線香花火みたいに膨らんでいる。

名前はツノトンボですが、トンボの仲間ではありません。アミメカゲロウ目なのでウスバカゲロウの仲間です。ヘビトンボの成虫もちょっと似ていますが、胴体の長さ、羽の大きさ、触覚が違います。この時期ならもう産卵しているかもしれません。

細い枝の先端あたりに、とっても小さいトウモロコシのように見える卵が2列産み付けられています。見方によっては花のツボミに見えるかもしれません。

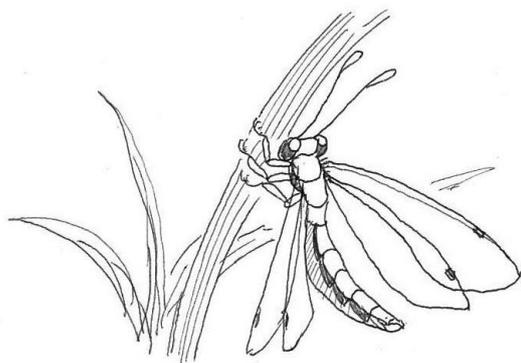
ツノトンボはウスバカゲロウの仲間なので幼虫もアリジゴクそのままです。しかし生まれてすぐは、枝に一列にしがみついているアブラムシのように見えます。でもよく見ると大きな顎を持つアリジゴクが一列についている、ちょっと怖いかも！？

そして次の日にはいなくなってる、一期一会、私も一回しか見たことがない。

本州では普通に見られるようですが、同じ仲間のキバネツノトンボは神奈川県のレッドデータに載っていました。

今の時期、膝丈くらいの草地を歩くことがあって、ちょっと飛び立ったトンボがいたらよく見てください。ほんとにトンボ？触覚が長かったらツノトンボですよ！

事務局 漆原



行先：大久保香苗

●森の作業体験(炭焼き体験) 報告●

5月18日(土) 9:00~14:00
参加者 2家族 合計4名 大人4名
スタッフ 7名

ドラム缶窯を用いて炭焼き体験会を実施しました。
窯内への炭材の充填状態を最初に確認し、窯の加熱昇温のための点火後、薪をくべるところから体験。昇温開始後は温度の測定などを実施。その間、参加者に炭焼きの概要を紙芝居により、窯の構造などを内部開放した大窯により説明しました。

昼前からコースター作り、火起こし、ホルン吹きを自由に体験し、好評でした。最終的にアンケートを記入いただいたところ、大いに満足でこの体験会を友人に紹介したいなどの感想がありました。

雑木林ファンクラブ 小島



●森を守るボランティア体験(4月) 報告●

定例行事の報告

開催日: 4月15日(日)
テーマ: 「オタマジャクシ観察の企画をしよう」
担当: 自然と遊ぼう 2名
一般参加者: 2名

レンジャーより森の概要説明、スタッフから友の会、各PJの説明の後、館内展示の昆虫の抜け殻や森の絵本を見たり、ごろすけ館でKFCの写真展やごろすけ館の活用を紹介してから園内に出て、定例の自然と遊ぼうのコースに沿ってヘイケボタルの湿地、畑、炭焼き小屋などの紹介をしました。

コースを歩きながら、自然と遊ぼうの活動紹介を含めながら自然観察を楽しみ、オタマジャクシの観察やシュレーゲルアオガエルの声を聴き、この森の豊かさを体験して、参加者に喜んで頂き、早速1名の方から友の会への参加申し込みを頂きました。

自然と遊ぼう 村松

●鳥のくらし発見隊 活動報告●

友の会の会員の皆さん、バードウォッチングを楽しんでみませんか。
「鳥のくらし発見隊」PJは、毎月第2日曜日9：00から、「みんなでバードウォッチング」という行事を開催しています。

「バードウォッチングは全くの初めて」という方から、ベテランの常連の方まで、多くの方々が参加されています。参加者を3つぐらいのグループに分け、別コースで歩きます。そのうちの1つは初心者のグループとし、双眼鏡の使い方や、鳥の見つけ方、簡単な見分け方など、基本的な事柄を中心に会を進めていきます。

バードウォッチングの魅力といいますと、なんといっても季節を感じられることではないでしょうか。ウグイスのさえずりを聞くと「あー、もう春なんだなあー」と思いますし、ホトトギスの鳴き声を聞くと夏が近いことを感じますし、モズの高鳴きを聞くと秋を感じます。鳥たちは自然の中でたくましく生きています。そんな鳥たちの生活にほんの少し触れることで、この森のことが肌で感じられることでしょう。皆さんのご参加をお待ちしています。

鳥のくらし発見隊

友の会行事のお知らせ

●2019年度 安全管理講習●

「市民活動の安全と傷害保険の役割」

「安全はすべてに優先」することは言うまでもありません。友の会ではこれまでも事故の発生を防ぐため安全管理意識の啓発や具体的な知識・スキルを涵養するため、毎年安全管理講習を実施してきました。また、不幸にも事故が発生した場合に備えて、会員自身の活動や実施する行事参加者を対象とした保険をかけています。必要なリスクをしっかりと認識し、それを確実にカバーしながらも、無駄な保険をかけることのないよう、傷害保険の適切な活用方法を勉強しましょう。

講師の方々にはそれぞれ、野外活動のリスク管理と保険の活用、傷害保険や賠償責任保険の概要、横浜市市民活動保険の事例という観点からお話しをいただく予定です。

タイトル： 「市民活動の安全と傷害保険の役割」

日 時： 6月23日（日） 10時～12時

場 所： 自然観察センター研修室

演題（仮）と講師： 1）野外活動のリスクと保険の活用（仮）
久保田 繁男 様（森づくりフォーラム理事、西多摩自然フォーラム代表）
2）市民活動における損害保険（仮）
横尾 修一 様（一般社団法人日本損害保険協会）
3）横浜市市民活動保険について
鈴木 正則 様（横浜市市民局地域活動推進課）

参加登録：友の会の会員向けの講習です。

下記の1) 2) のいずれかで、氏名と（所属していれば）プロジェクト名を記載して、

6月19日（水）までにご登録ください。

- 1) プロジェクトに所属の方は、プロジェクトのリーダーにてとりまとめをいただき、定例会メーリングリストで。
- 2) プロジェクトに所属しておられない方はE-mailで、
kansatsunomori@gmail.com 宛

中塚（安全管理担当）

【報告】第1回 保全管理フォローアップの会 (5/11 (土) 13~16時)

勉強会「ピクニック広場の植生図をつくろう~春編~」

●講師：中村幸人先生(東京農業大学名誉教授)

○参加者：友の会7名(片岡章さん、佐々木美雪さん、篠原由紀子さん、関根和彦さん、西山健太郎さん、渡部克哉さん、吉田賢一さん)、みどりアップ推進課1名(山野崇さん)、レンジャー2名(掛下尚一郎、中沢一将)

○内容：昨年秋のフォローアップ勉強会では、秋の2年目の草地の植生図をつくるための調査をおこないました。今回は春の特徴を調べるとともに、秋に調べられなかった多年生草本の群落をいくつかに分けるための植生調査をおこないました。調査と並行して、秋の植生図と現地の様子を見比べながら先生のお話を伺いました。広場の中心(園路)には踏み跡指標植物があり、外周の樹林地に向かうにしたがって一年生草本や越年生、多年生草本、林縁の路傍植物へと変化していく様子などを観察しました。お話を通して植物がその環境を素直に現していることがわかり、植物を観察する新たな視点を得られたのではないかと思います。

【お知らせ】フォローアップの会 今後の予定

★次回 7月6日(土) 13時~15時

内容：桜林の植生調査(予定) 集合：研修室

桜林(ミズキの道18番付近)は、2016年度の冬の伐採により、林床の日当たりがよくなりました。それとともない下層は旺盛に繁茂しています。今回は2年ぶりに植生調査をおこない伐採後の植生の変化を記録します。

持ち物：作業のしやすい服装、帽子、飲み物、滑り止めつき軍手

※資料の準備の都合で、ご出席いただける方は、前日までに掛下(kakesita@wbsj.org)か、中沢(nakazawa-k@wbsj.org)までご連絡ください。

【お知らせ】保全管理懇談会(前期)

7月15日(月・祝) 15時~17時 研修室にて (利用推進会議終了後の開催になります)

園内の環境管理について、横浜市の担当者と年に2回、情報共有・意見交換を行っています。今年度、横浜市とレンジャーの行う草刈や伐採などの作業や補修工事の計画についてご説明し、意見交換を行います。生きものの暮らしやすい環境づくりや、利用面での管理についてぜひお声をお聞かせください。

どなたでもご参加ください。

◎資料の準備の都合で、ご出席いただける方は、前日までに掛下(kakesita@wbsj.org)か中沢(nakazawa-k@wbsj.org)にご連絡ください。

【開催中】企画展「カラフル ちょうちょ」展(10月末まで)

この森の色とりどりのチョウを紹介する展示「カラフル ちょうちょ」展を自然観察センターで開催中です。いつも見かけるあの色のチョウを調べてみましょう。また、チョウを切り口に環境問題に目を向ける内容もあります。作成にあたって、友の会カワセミファンクラブの取り組むチョウの調査の結果も参照しました。また、写真も多数ご提供いただいています。



【お知らせ】園内で活動中の学生・研究者

現在、園内で調査活動をしている（予定のある）方の情報をお伝えします。手法や機材の設置位置についてはレンジャーと調整の上、行っていますがお気づきの点がありましたらご連絡ください。

- 東京都市大学の学生さん：卒論でセンサーカメラによるタイワンリス、アライグマの調査を実施中（カメラは一般来園者が写らないように設置しています）。
- 友の会の岸本さん他：バッタ目相調査（6月以降通年実施予定）。

【報告】イベント「森のクイズラリー」今年も好評でした

今年も春の大型連休に、「森のクイズラリー」を開催しました。地図を手に園内各所のクイズを解いて巡るこのイベントも、4年目を迎えました。貴重なお休みに、友の会から9名のべ13名の方にご協力いただきました。恒例のハイケボタルの湿地では、この春はオタマジャクシの数が少なく、ご案内にはなにかと工夫をこらさせていただきました。また、横浜市立大学の学生ボランティアの受け入れ日には、日ごろの活動や森の様子をお話しいただき、学びを深めていただきました。

不安定なお天気と、車で来園出来ない状況から、例年より少ない300名程度の参加でしたが、アンケートの満足度は高く、好評に終わりました。



【報告】イベント「横浜つながりの森を歩こう」

5月26日、「横浜つながりの森を歩こう」のイベントを実施しました。一昨年より11月に行っている円海山緑地を縦断するイベントを、今回は初夏バージョンで開催しました。参加者は16名。自然観察の森で草地や湿地の管理の話やそこで見られる季節の生き物を観察し、ビートルズトレイルをウォーキングして瀬上市民の森まで行きました。瀬上では友の会会員であり、「瀬上さとやまもりの会」の中塚さんを講師に、市民の森制度や谷戸での活動の解説を聞き、市内最大のオギ原を観察したりしました。真夏日が続く中のイベントでしたが、尾根道は木陰で風も通り、比較的過ごしやすい状況でした。参加者の感想も好評でした。11月にも同様のイベントを予定していますので、ぜひご参加ください。



ボランティアさん

** 4/1~6/1 **

ありがとう

4/1~ カワセミファンクラブのみなさま 自然情報のご提供

4/1~ 野草の調査と保護プロジェクトのみなさま 開花情報のご提供

4/28~5/4

イベント「森のクイズラリー」へのご協力

中里幹久さん、上原明子さん、小泉恵敬さん、石川裕一さん、水上重人さん、
柴田葉子さん、矢島静さん、今村修さん、槇野淳一さん

5/12、6/9 鳥のくらし発見隊のみなさま 野鳥情報の提供

5/25 雑木林ファンクラブのみなさま ストーブ用の薪のご提供

5/26 上原明子さん、矢島静さん イベント「横浜つながりの森を歩こう」へのご協力

6/1~ カワセミファンクラブ 平野貞雄さん 石川裕一さん 企画展示へ画像のご提供

行先：大久保香苗

横浜自然観察の森 自然観察センター（月曜休館・祝日の場合はその翌日）

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:yokohama-nc@wbsj.org <http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

★上郷・森の家の改修にともない、車でのご来園ができません。ご注意ください。

行事スケジュール 6月～8月

■：センター行事
●：友の会行事
★：共催行事

●友の会 季節行事●

●駐車場の草刈り（園内作業用駐車場）

6/29（土）10:30～12:00
（雨天中止）

集合：園内作業用駐車場

対象：駐車場を利用するPJメンバー、会員有志

服装：帽子、長袖、長ズボン（飲み物持参）

担当：雑木林ファンクラブ

●2019年度 安全管理講習

6/23（日）10:00～12:00

タイトル：市民活動の安全と傷害保険の役割

場所：自然観察センター研修室

★森を守るボランティア体験 偶数月第3日曜

～友の会活動内容紹介と森のルールを～

8/18（日）9:30～14:00 雨天決行

受付：直接、自然観察センター研修室へ

対象：どなたでも ※小学生以下は保護者同伴

●自然観察センター主催行事●

■自然を守るお仕事体験

レンジャーといっしょに川の生きものの観察と記録を行おう。

横浜市教育委員会による「こどもアドベンチャー」プログラムの一環として開催します。

開催日：8月15日（木）

時間：10時～12時

対象：小学生10名（抽選）

※保護者要同伴 子1人に1名まで

申込：下記項を明記の上、7/10（水）までにメール、FAXにてセンターへ申込み。

①イベント名と開催日

②参加者全員の名前（子どもは年齢も）

③電話番号

④FAXの場合はFAX番号

⑤情報源「ごろぼう」

発行日 2019年6月16日

発行 横浜自然観察の森友の会

FAX 045-894-8892

E-mail: kansatsunomori@gmail.com

●友の会 定例行事●

●季節の森を歩こう（園内の自然案内）

～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～
7/7（日）・8/4（日）

1回目 11:00～ 2回目 13:00～

受付：30分前から 自然観察センター前にて

対象：どなたでも

担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

●みんなでバードウォッチング（野鳥観察）

～のんびり楽しむバードウォッチング～

7/14（日）・8/11（日）

9:00～13:00 少雨決行

受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも

担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

●森の絵本を楽しもう

～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～

6/19（水）・7/17（水）・8/28（水）

10:30～12:00 絵本製作

受付：ボランティアルーム 対象：どなたでも

担当：森の絵本づくりの会 毎月第3水曜

●定点カメラで動物調査

7/13（土）・8/10（土）

9:30～12:00

※雨天の場合、日程を変更する可能性あり。センターに確認のこと。

対象：友の会会員向け

持ち物：汚れても良い白っぽい服、動きやすい靴で。タオル、水筒持参

集合：ごろすけ館集合

6月～11月の毎月第2土曜日

●畑と作物をつくろう

～生き物にあふれた畑を目指して～

7/20（土）

10:00～12:00 雨天中止

受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも

担当：畑プロジェクト 8月を除く毎月第3土曜日

●自然と遊ぼう（園内の自然案内）

～ゲーム感覚で、あそびながら自然とふれあい～

6/22（土）・7/27（土）・8/24（土）

13:30～14:30

（※2019年度も1日1回の開催になります。）

受付：30分前から 自然観察センター前にて

対象：子どもから大人までどなたでも

担当：自然と遊ぼう 毎月第4土曜